



はじめに

福生市は、昭和45年7月1日に市制を施行し、平成7年7月で満25周年を迎え、この間、教育・文化をはじめ、福祉・保健、都市基盤整備、生活基盤整備等順調に発展を続けてまいりました。

しかし、市の特性や広域的な役割についての認識をはじめ、身近にきている高齢化社会と、21世紀に向けての社会環境の変化に留意しつつ、21世紀初頭に対応できるまちづくりがもとめられております。

平成7年3月に総合計画修正後期基本計画を策定し、基本構想に示した市の将来像「輝く街 福生」の実現を目指し、アクティブ、クリエイティブ、チャレンジング（ACC）をまちづくりの行動指針として、21世紀に向けて諸施策を進めて参ります。

当市の約1/3を占める米空軍横田基地は、極東における輸送中継基地として、重要な拠点に位置づけられており、ますます強化されております。この基地について、基本構想のなかでは「無いことが望ましいが、基本構想の目標年次である21世紀初頭までに全面返還される可能性を想定することは困難である。返還された場合における計画については別に定めることとし、本基本構想については、基地が存在する現実を前提とする。」としています。

しかしながら、この存在につきましても、市民生活に様々な影響をおよぼしており、市民生活の安全と環境保全の立場から、航空機騒音等の確にとらえ、関係機関に改善の促進をこれからも強く要請してまいります。

本書は、平成3年発行の前書に引き続き発刊したものであり、こうした基地に起因する多くの諸問題を抱える本市の現状を知っていただくとともに、基地周辺対策事業関係資料集としてとりまとめたものでありまして、関係各位のご参考になれば幸いです。

改訂版発刊に際しまして、資料のご提供やご指導、ご協力をいただきました多くの方々に厚くお礼を申し上げます。

平成8年3月

福生市長 石川 彌八郎